

補助金交付申請書

令和〇〇年5月7日

川西市長様

提出する日付を記入

(申請者) (〒666-8501)
住所 川西市中央町12-1
団体名
代表者名 川西金太郎 印
(上記代理人) (〒666-0000)
住所 川西市〇〇1丁目〇〇-〇〇
氏名 清和建設(株)一級建築士事務所 印
丸山みどり
(連絡先の電話番号 072-000-0000)
(連絡先のFAX番号 072-000-0000)

令和〇〇年度において、川西市住宅耐震改修促進事業（住宅耐震改修計画策定費補助）を下記のとおり実施したいので、補助金 166,000 円を交付願いたく川西市住宅耐震改修促進事業実施要綱第5条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

収支予算書の補助金の額を記入

1. 事業の内容及び経費区分（別記）

契約予定日を記入

2. 事業の着手年月日 令和〇〇年5月30日（予定）
事業の完了年月日 令和〇〇年6月25日（予定）

代金の支払予定日を記入

3. 添付書類

- 耐震診断・耐震改修計画策定住宅概要書（様式第耐震1-1号）
- 住宅の所有者及び建築年月が確認できる書類
- 住宅の付近見取り図
- 耐震診断・耐震改修計画策定費用の見積書
- 区分所有の共同住宅である場合は次に掲げる書類
 - 交付申請内容を行うことについて管理組合の議決等を経たことを証する書類
 - 戸数及び住戸ごとの専用面積が確認できる書類
 - 管理組合の理事長等が代表して申請する場合は、理事長等であることを証する書類
 - 店舗併用住宅である場合は、住宅に関する部分の補助対象経費の算定に必要な書類
- 委任状（代理人が申請手続を行う場合）

収 支 予 算 書

1 収入の部

科目	予算額	摘要
市補助金	166,000 円	
自己資金	84,000 円	
計	250,000 円	

様式第耐震1-1号で算定した補助額を記入

補助対象金額を記入

2 支出の部

科目	予算額	摘要
耐震改修計画策定	250,000 円	
計	250,000 円	

補助対象金額を記入

(注) 収支の計はそれぞれ一致する。

(注) 予算額は、補助対象となる額を記入すること。

(注) 支出の部の摘要欄には補助対象外も含めた額（契約額）を記入すること。

(注) 業者からのキャッシュバックやクーポン券等の実質的な値引き額は補助対象外となる。

耐震診断・耐震改修計画策定住宅概要書（個表）

（住宅耐震改修計画策定費補助）

住宅の名称	川西 金太郎 邸	
住宅の所在地（地番）	川西市中央町12番1号	地番を記入 1 申請者の住所と同一 2 申請者の住所と別
住宅の所有者	氏名	川西 金太郎
	住所	川西市中央町12番1号 Tel. 072-000-0000
住宅の所有者及び建築年月が確認できる書類と整合		
建築確認年月日	昭和51年 5月23日 第 123 号 ・ 不明	
検査済証	昭和51年10月29日 第 678 号 ・ 不明	
建築年月	昭和51年10月頃竣工	
形態種別	1 戸建住宅 棟数 1棟、戸数 1戸（うち補助対象戸数 1戸） 住宅の所有者及び建築年月が確認できる書類と整合	
規模（改修前）	地上 2階 地下 -階 塔屋 -階	
	建築面積 81.15 m ² 延べ面積 110.00 m ²	
設備要件	1 居室 2 台所 3 トイレ 4 出入口	
店舗等併用住宅の場合の規模	店舗等の用に供する部分の床面積 - m ²	延べ面積に対する店舗等の用に供する部分の床面積の割合 - % すべて備えていること
構造種別	1 木造 2 鉄骨造 3 鉄筋コンクリート造 4 鉄骨鉄筋コンクリート造 5 その他（ ）	
住宅耐震改修計画策定費補助金額	166,000 円	
住宅耐震改修計画策定費算定	戸建住宅	<input type="checkbox"/> 200,000円（上限） <input checked="" type="checkbox"/> 166,000円 耐震診断・耐震改修計画策定見積額（250,000）×2/3 1,000円未満切捨て
	共同住宅	<input type="checkbox"/> 円 = 120,000円 × （ ）戸（上限） <input type="checkbox"/> 円 耐震診断・耐震改修計画策定見積額（ ） × 2/3
備考		

添付書類

- ・ 店舗等の部分がある場合は、求積図・求積表（店舗等の部分の床面積の割合がわかるもの）

補助事業実績報告書

令和〇〇年7月5日

川西市長様

提出する日付を記入
事業完了から30日以内

(申請者) (〒666-8501)
 住所 川西市中央町12-1
 団体名 交付申請書と同じ印鑑
 代表者名 川西金太郎 (印)
 (上記代理人) (〒666-0000)
 住所 川西市〇〇1丁目〇〇-〇〇
 氏名 清和建设(株)一級建築士事務所 (印)
 丸山みどり
 (連絡先の電話番号 072-000-0000)
 (連絡先のFAX番号 072-000-0000)

交付決定日、番号を記入

令和〇〇年 5月25日付 川口〇〇 第12号をもって交付決定のあった、令和〇〇年度川西市住宅耐震改修促進事業(住宅耐震改修計画策定費補助)を下記のとおり実施したので、川西市住宅耐震改修促進事業実施要綱第11条の規定により、その実績を報告します。

記

1. 事業の内容及び経費区分 (別記)

2. 事業の着手年月日 (令和〇〇年5月30日)

令和〇〇年5月25日

事業の完了年月日 (令和〇〇年6月25日)

令和〇〇年6月15日

3. 添付書類

- (1) 補助金算定・精算書(様式第耐震2号)
- (2) 耐震改修工事費用の見積書
- (3) 交付決定通知書の写し
- (4) 耐震診断報告書(様式第耐震3号)
- (5) 住宅耐震改修に係る図書
- (6) 耐震改修計画策定に係る契約書の写し及び領収書の写し
- (7) 兵庫県住宅再建共済制度の加入証書の写し又は加入申込書の写し
- (8) 委任状(代理人が申請手続を行う場合)

交付申請書に記載した日付を記入

契約日(交付決定日以降)を記入

領収書の日付を記入

(注) 申請内容を上段に()書き、実績を下段に記入する。

(注) 着手年月日は契約日、完了年月日は費用の支払日とする。

収支決算書

1 収入の部

科目	決算額	摘要
市補助金	166,000 円	
自己資金	84,000 円	交付決定を受けた補助金額を記入
	円	
計	250,000 円	

補助対象金額を記入

2 支出の部

科目	決算額	摘要
耐震改修計画策定	250,000 円	
計	250,000 円	

補助対象金額を記入

(注) 収支の計はそれぞれ一致する。

(注) 補助金は、見込み額を記入する。

(注) 決算額は、補助対象となる額を記入すること。

(注) 支出の部の摘要欄には補助対象外も含めた額（契約額）を記入すること。

(注) 業者からのキャッシュバックやクーポン券等の実質的な値引き額は補助対象外となる。

提出する日付を記入

令和〇〇年 7月 5日

「算定」を囲む

補助金 算定・精算書

住宅改修業者登録 丘住改 〇〇〇 第 〇〇100 号

所在地 川西市〇〇1丁目〇〇-〇〇

会社名 清和建設(株)

代表者名 萩原 大和

印

登録している所在地、会社名、代表者名を記入

「見積り」を囲む

下記のとおり 見積り ・ 精算 致します。

該当する補助の種類を囲む

(住宅耐震改修計画策定費補助 ・ 住宅耐震改修工事費補助)

住宅の所有者	川西 金太郎	
住宅の所在地	川西市中央町12番1号	
住宅の建て方 ※1	<input checked="" type="checkbox"/> 戸建住宅 <input type="checkbox"/> 共同住宅	
(共同住宅の場合)	住戸数(a)	—戸
	うち補助対象戸数(b) ※2	—戸
総工事費 (c)=(a)+(b)		3,456,000円
補助対象工事費 (a)	見積書の金額と一致	2,592,000円
その他工事費 (b)		864,000円
補助金額 ※3 (d)		1,000,000円

※1 住宅の建て方に 下の算定表より該当する補助金額を記入

※2 所得が12,000千円(給与収入のみの者にあつては給与収入が14,200,000円)以下の県民が所有する住宅の戸数を記入してください。

※3 住宅耐震改修工事費補助の交付申請に使用する場合は、以下の算定表に基づき算出した補助金額を記入してください。(住宅耐震改修計画策定費補助の場合は記入不要)

※ 変更交付申請の際に使用する場合は、変更前を()書きで併記してください。

【補助金額(d)の算定表】

いずれか低い額にチェックをする

区分	補助金額
戸建住宅	<input checked="" type="checkbox"/> 1,000,000円 (上限) 1,000円未満切り捨て
	<input type="checkbox"/> 2,073,000円 =対象費用(2,592,000) × 4/5
共同住宅	<input type="checkbox"/> 400,000円/戸 (上限) × () 戸
	<input type="checkbox"/> 円 =対象費用() × 1/2

【添付書類】 補助対象工事費の内容が分かる内訳書

提出する日付を記入
事業完了から30日以内

令和〇〇年7月5日

耐震診断報告書

川西市長様

耐震診断者の氏名・押印

耐震診断者氏名 **丸山みどり**
(1級)建築士 (大臣)登録第 **〇〇〇〇〇〇** 号
建築士事務所名 **清和建设(株)一級建築士事務所**
(1級)建築士事務所 (兵庫県)知事登録第 **〇〇〇〇** 号



耐震診断の結果について、下記のとおり改修前及び改修後の耐震診断が行われた旨を確認しましたので報告します。この報告書及び添付資料に記載の事項は事実と相違ありません。

記

1 住宅の名称	川西 金太郎 様邸
所在地	川西市中央町12番1号
2 耐震診断の方法	木造住宅の耐震診断と補強方法による一般診断
3 改修前における耐震診断結果*1 評点 0.46	(所見) <ul style="list-style-type: none"> 土葺き瓦屋根のため、非常に重い建物である。 1階Y方向の壁量が少なく、上部構造評点が0.46となっている。
4 改修後における耐震診断結果 評点 1.05	(耐震改修の方針) <ul style="list-style-type: none"> 瓦を軽量の瓦に葺き替えることで、建物の軽量化を図る。 耐力壁をバランス良く配置することにより、耐震性の向上を図る。 耐震改修とあわせて、劣化部分を補修し、耐久性を高める。
	(具体的な補強方法) <ul style="list-style-type: none"> 耐震壁をバランスよく追加、増設する。 屋根を和瓦からスレート板瓦に葺き替え、軽量化を図る。 外壁のクラックを補修し、雨水の侵入を防ぐことにより、劣化を軽減する。
5 備考	

耐震診断の方法を記入

改修前の評点を記入

改修後の評点を記入

耐震改修方針を記入

補強方法を記入

【添付資料】耐震診断計算書（改修前後）

- 平成12年度から14年度に実施した「わが家の耐震診断推進事業」又は平成17年度から実施している「簡易耐震診断推進事業」の診断結果を添付することにより改修前の耐震診断計算書を省略することができます。（改修後の耐震診断計算書は省略できません。）

年 月 日

日付は空欄

補助金請求書

川 西 市 長 様

住 所 **川西市中央町12-1**

氏 名 **川西 金太郎**

印

注) 交付申請書と同じ印鑑 (訂正印も含む) を押印してください。

交付申請書と同じ印鑑

下記のとおり、補助金を精算(概算)払いによって交付されたく、川西市住宅耐震改修促進事業実施要綱第 14 条第 1 項(第 2 項)の規定により請求します。

記

1. 請求金額 金 **166,000** 円也

補助金交付決定額 _____ 円 (概算払のとき)

補助金確定額 **166,000** 円 (精算払のとき)

既受領額 _____ 円

今回請求額 **166,000** 円

補助金額を3ヶ所に記入

<根拠> 補助金交付決定通知 [第 号] (概算払のとき)

年 月 日 [記入不要]

補助金交付決定変更通知 [第 号] (")

年 月 日 [記入不要]

補助金確定通知 [第 号] *補助金確定通知書の写しを添付した場合は記入不要

年 月 日 [記入不要]

2. 振込先

金融機関	金融機関名 : かわにしいけだ銀行						
	支店名 : 川西能勢口支店						
口座の種別	普通 ・当座 (該当を○で囲む)						
口座番号	1	2	3	4	5	6	7
口座名義人	(フリガナ) カワニシ キンタロウ						
	川西 金太郎						

○で囲む

申請書名義の口座に限る

注) 口座名義人は交付申請書と同じ名前を記入してください。